

講義名	ブライダルコーディネーション論			授業形態	
担当教員	道前 美佐緒	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

日本ブライダル文化振興協会認定アソシエイト・ブライダルコーディネーター検定及び、国家検定ブライダルコーディネーター技能士3級取得を目指す。ブライダルコーディネーション で修得した基礎知識を応用し、模擬人前式を試みる実践的な授業です。ブライダル施設を見学し、式場担当者の話を通して現場で求められる資質やスキルについて考察します。カップルのモデルシートに対し、人前結婚式をプランニングして、実際に模擬人前式を行います。また、講義では、衣装・装花など、婚礼アイテムに関する基礎知識や、プランニングの手法について学び、オリジナルウェディングの提案ができるようになります。なお、施設見学及び人前式プロデュース会場までの交通費は自己負担となります。また、会場見学、人前式実施日は、会場都合により日時・場所を変更することもあります。

到達目標

1. 現代のオリジナルウェディングの概要を理解できる。
2. ウェディングプランニングの手法を学び、結婚式・披露宴のプランニングができる。
3. 施設見学で業務人との交流を通して、ブライダル業界の現状を知り、付加価値や展開について考察することができる。
4. 模擬人前結婚式のプロデュースを通して、創造力やチームコミュニケーション能力を高めることができる。
5. プランニングに必要な情報を収集し、整理し、課題発見する力を身につけることができる。

提出課題

施設見学、人前式プロデュースについてのレポート、プランニング企画書

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

レポート、プランニング企画書は授業内でフィードバックします。

評価の基準

ウェディング企画書	5 0 %
レポート	3 0 %
人前式演技	2 0 %

履修にあたっての注意・助言他

日本ブライダル文化振興協会認定アソシエイト・ブライダルコーディネーター検定及び、ブライダルコーディネーター技能士3級合格には、ブライダルコーディネーション、及びブライダル事業論を履修し、知識を修得することが必要です。ブライダル情報誌やSNS、あるいは、身近な人の体験からブライダルの情報を収集することを心がけてください。施設見学などの機会には、ホテル・ブライダルビジネスのマネージャー基準に合った服装や髪型で参加し、その場に相応しい立ち居振る舞いや言葉遣いを心がけてください。模擬結婚式のプロデュースでは、自分の役割を責任をもって果たしてください。

教科書

--	--	--	--	--	--

参考図書

ブライダルコーディネーターテキスト・スタンダード、	(公社)日本ブライダル文化振興協会 人材育成委員会	(公社)日本ブライダル文化振興協会	3850		
結婚の前に知っておきたい神様のこと、	道前美佐緒	青山社	1760	9784883593279	

その他

資料を授業内で配布、もしくはポータルにアップすることもあります。

授業計画

1. ガイダンス：ウェディングプランナーの存在価値
2. ブライダルビジネスの歴史と展望
3. オリジナルウェディングの創造と人前結婚式の質的变化
4. ブライダル施設見学：AAIクラウンプラザホテル
5. ブライダル施設見学：エスタシオン・デ・神戸
6. ブライダル施設見学：北野クラブSOLA
7. ヒアリングとプランニング
8. ウェディングテーマとコンセプト
9. ウェディングアイテムのトータルコーディネート
10. 人前結婚式プロデュース（船役と音楽制作・BGM選曲のポイント）
11. 人前式プロデュース（役割ごとにアイテムコーディネート）
12. 人前式プロデュース（各担当業務と導線）
13. 人前式プロデュース（リハーサル）
14. 人前式プロデュース（実施）
15. （人前式プロデュース（振り返り）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業で得た知識に加え、自分で収集した情報を活用し、プランニングします。（予習・復習各120分程度）
施設見学の前に、該当施設や業界について情報収集し、問いをもって参加し、課題や付加価値を見出し、自身の意見をまとめてレポートを書いてください。模擬人前式では、積極的に情報を収集し、意見を出し、成果に繋がるよう練習をしてください。（予習・復習各120分程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目は、ブライダル関連企業での就業に必要な知識を学び、国家検定合格へ導くものです。模擬人前式プロデュースを通して、マネージャーコミュニケーション能力、提案力、組織運営力を養うことは、本学の学位認定・学位授与の方針と一致します

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

テキストの内容に基づき情報収集したうえでディスカッションやグループワークを行います。それらを通して、新たな発想や他者理解の視点を磨くことができます。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。（公社）日本ブライダル文化振興協会任命 ブライダルコーディネーター職種技能検定「指定試験機関技能検定委員」として、国家検定ブライダルコーディネーター技能士の問題選定会議に参加し、1・2級の演技試験の試験者を勤めています。ホテルハンゲットマネージャーコンベンションでの講演や若手コンベンションの審判員などを勤め、業界の発展に努めました。また、行政の職業の課題である結婚率アップの為、四日市市の婚活支援事業に参加するなどして来ました。ブライダルプロデュース会社経営、結婚式場顧問など、ブライダル業界を中心に広く企業の人材育成に担った経験を活かし、これからのブライダル業界に求められる発想力や実行力を養います。

備考

--	--	--	--	--